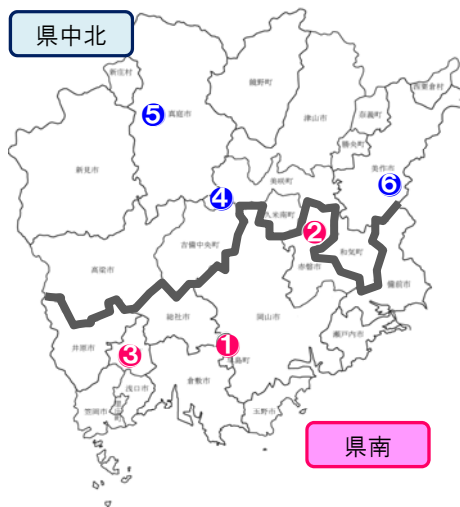




■事後評価

■道路整備の課題

- ・県南地域は、岡山市・倉敷市などの都市が連担し、それぞれ各地域の商工業の拠点となっており、地域間連絡道路や周辺部から各都市部に至る幹線道路において発生している渋滞の緩和が課題です。
- ・県中北地域は、圏域の中心都市と周辺地域とを結ぶ日常生活を支える道路の整備が求められており、線形不良や幅員狭小などの交通難所の解消が課題です。
- ・県土全般では、災害時や救急医療のための輸送路を充実・強化する橋梁耐震化・長寿命化などの道路整備が求められるとともに、通学路等における歩道整備や高齢者等の交通弱者に配慮した道路整備による、安全で安心な道路空間の形成が課題となっています。



【①渋滞発生】
県道 吉備津松島線(倉敷市)



【②事故危険】
国道 484号(赤磐市)



【③橋梁補修(老朽化)】
国道 486号(新栄橋側道橋・矢掛町)



【④幅員狭小】
国道 429号(美咲町・吉備中央町)



【⑤落石危険】
国道 181号(真庭市)



【⑥橋梁耐震化】
県道 和気笹目作東線
(門尻橋・美作市)

■整備の目標

・地域の課題解消のため、渋滞対策による経済損失の解消、線形改良等による時間損失の解消、交通事故対策による死傷事故件数の減少、防災・耐震対策による災害時通行安全確保割合の増加を整備目標として事業を推進します。

指標①: 県南地域における渋滞対策による経済損失の解消割合

当初現況値 (H21当初)	—	中間目標値 (H23年度末)	5%解消	最終目標値 (H25年度末)	10%解消
------------------	---	-------------------	------	-------------------	-------

指標②: 事故対策による死傷事故件数の減少割合(死傷事故減少率)

当初現況値 (H21当初)	—	中間目標値 (H23年度末)	3%減少	最終目標値 (H25年度末)	10%減少
------------------	---	-------------------	------	-------------------	-------

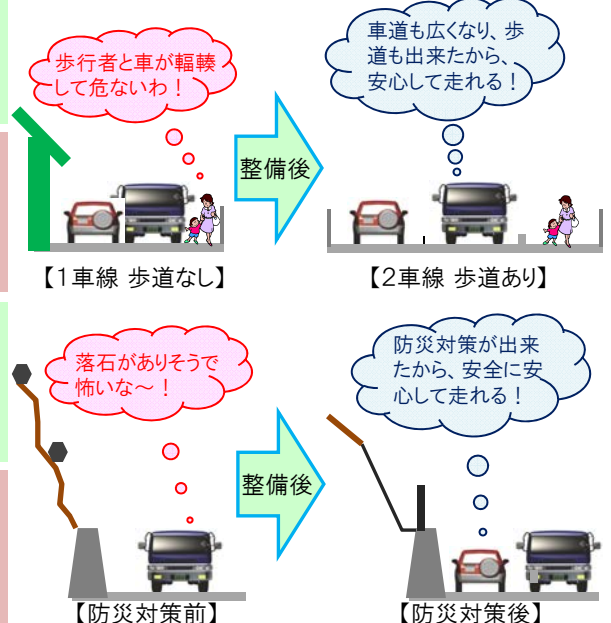
指標③: 県中・北地域における線形改良等による時間損失の解消割合

当初現況値 (H21当初)	—	中間目標値 (H23年度末)	5%解消	最終目標値 (H25年度末)	10%解消
------------------	---	-------------------	------	-------------------	-------

指標④: 災害時通行安全確保割合の増加割合

当初現況値 (H21当初)	—	中間目標値 (H23年度末)	20%確保	最終目標値 (H25年度末)	40%確保
------------------	---	-------------------	-------	-------------------	-------

■整備イメージ





■対策の実施

・設定した目標達成にむけて、バイパス等の整備や交通安全対策及び防災・震災対策を実施しました。

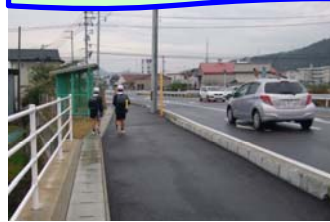
最終年度(H25年度末)までに供用した代表事業

■バイパス整備■



【道路改築】
県道 新見川上線(新見市)

■交通安全対策■



【交通安全】
県道 槌ヶ原日比線(玉野市)

■防災対策■



【道路防災】
国道 429号(美作市)

■橋梁耐震補強■

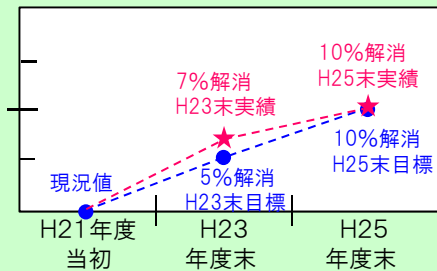


【橋梁耐震化】
県道 高梁御津線(境橋:吉備中央町)

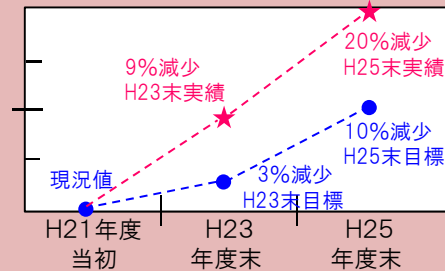
■最終目標の実現状況と今後の方針

・H25年度末時点の評価を行い、今後の方針を検討しました。
・最終目標の達成状況を確認した結果、順調に事業進捗が図られており、効果発現目標が全て達成されました。引き続き、県内には渋滞対策や隘路対策、交通安全対策や防災・震災対策を必要とする箇所があるため、次期計画において事業を推進することとします。

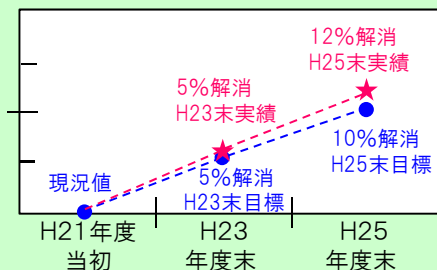
指標①: 県南地域における渋滞対策による経済損失の解消割合



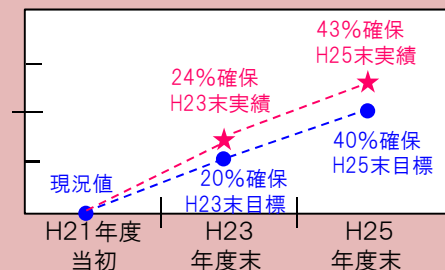
指標②: 事故対策による死傷事故件数の減少割合(死傷事故減少率)



指標③: 県中・北地域における線形改良等による時間損失の解消割合



指標④: 災害時通行安全確保割合の増加割合



■次期計画(H26~30)において、引き続き事業を推進します。



【道路改築】

県道 芳井油木線(井原市)

本路線は、沿線で採掘された製鉄用石灰石の輸送や名勝の天神峡へのアクセス道路として利用されていますが、幅員が狭く通行に支障をきたしているため、バイパス事業を推進しています。



【交通安全】

国道 484号(赤磐市)

交差点付近は線形が悪く、右折レーンも無いため、死亡事故も発生しています。また、通学路でありながら歩道が未整備であることから課題解決に向け、引き続き交差点改良及び歩道整備を推進します。



【道路防災】

国道 180号(新見市)

本路線は、急峻な山岳地形に位置しているため、落石危険箇所が多数存在しています。安全・安心な通行を確保するため、道路防災事業を推進します。



【橋梁耐震化】

国道 374号(備作大橋:和気町)

備作大橋は、第1次緊急輸送道路に位置する橋梁です。大規模地震発生時の救急活動や物資輸送で重要な役割を果たす路線であり、橋梁の耐震化による、安全安心な道路づくりを推進します。